

ヘルペス（疱疹） 【Herpes】

http://www.upali.ch/herpes_en.html

どの疾患が、ゾウにとって非常に危険か？

ゾウ天然痘 (Elephant pox)、結核 (TB)、ゾウヘルペス (EEHV) は、あらゆるゾウ舎の上にダモクレスの剣*1のように吊されている。

天然痘

過去 2 ~ 3 年において、ゾウ天然痘は、主としてドイツで観察された。幸運にも、スイスのゾウたちは、今までこの疾患を免れてきた。

結核

結核は、チューリッヒ動物園のメスゾウの **Thaia** に死をもたらした。Thaia (30 歳) の健康状態は、原因が解らないまま、慢性的に 2 年で非常に悪化したので、安楽死させなければならなかった。病理学者は、剖検によって、かつては丈夫で健康だったゾウを急激に衰弱させた原因が、結核であったことをすぐに発見した。



↑ Xian

ヘルペス

ヘルペス（疱疹）とは、漿液を含んだ小嚢（小さな水疱）がたくさんできる皮膚病に対しての一般用語である。それらの大部分は、真菌類やウイルス感染症が原因である。

*1 ヨーロッパ文化圏において、『身につきまとう危険』がある際の喩えとして使われる。

ダモクレスの剣 (Sword of Damocles) とは、紀元前4世紀、シラクーザ (イタリア) の王、ディオニシオスが、王位の幸福を褒めたたえ過ぎた家来のダモクレスを王座に座らせ、頭上に毛 1 本で結んだ剣を吊して、王位の幸福がびくびくするようなものであることを示した故事のこと。

王は、この 1 本の毛に吊された剣によって、常に、王が命の危険に晒されている境遇にあることをダモクレスに示そうとした。繁栄 (幸福) の中でも常に危険があることを示している。この故事から『ダモクレスの剣』は、常に戦々恐々としている状況、あるいは、そのような状況をもたらすものの喩えに用いられるようになった。

無害なヘルペスウイルスのうちの1つは、我々人間に単純疱疹（口唇ヘルペス）を引き起こす。

ヨーロッパでは、何頭の若いゾウが死んだか？

- Lohimi (1988年) : ニー・サーカス (スイス)
- Indiri (1998年) : ロッテルダム動物園 (オランダ)
- Kiba (1998年) : ベルリン動物園 (ドイツ)
- Xian (1999年) : チューリッヒ動物園 (スイス)
- Aishu (2003年) : チューリッヒ動物園 (スイス)

ヘルペスを防ぐために、ゾウに予防接種をすることができるか？

Lohimi と Xian は、極めて危険なゾウヘルペスウイルスに罹患してしまった。これらのヘルペスウイルスは、いまだ分類（同定）されていない。さらに、それらの培養もできていない。これら（ウイルスの同定と培養）は、ワクチンを開発するための基本的な必須条件である。

なにがヘルペスを引き起こすか？（なにがヘルペスの原因となるか？）

ヘルペスウイルスの発疹は、たびたび、ストレスと関連している。

3頭の若いゾウ（Lohimi、Xian、Aishu）は、2歳～3歳半の間に死亡した。この年齢は、離乳期である。

その上に、さらなる興奮（動揺、刺激）が、この状況に加わった場合、ヘルペスウイルスの発疹に好都合なストレス徴候が誘発されるだろう。

Lohimi は、とても早い時期に母親と分離されて（離乳させられて）、サーカスの公演に組み込まれた。

Xian は、新しいメスゾウの **Indy** の出現（ニー・サーカスからチューリッヒ動物園に来園）に喜んだ。彼女が到着した後、**Xian** は、静かにしていることが、ほとんどなくなった。**Xian** は、若いメスゾウ（**Indy**）と一緒に、絶えずあたりを動き回っていた。

Aishu は、チューリッヒ動物園のメスゾウたちの間で、社会的緊張に苦しんでいた。ゾウ舎の寝室では、ゾウたちが利用できる場所が狭いために、ゾウ同士の衝突や闘争が継続的に（一晩中継続して）起こる。この騒ぎには、**Aishu** の母親である **Ceyla** もひどく関係していた。

3頭の若いゾウは、急死したか？

ヘルペスウィルスは、Xian の小腸、心房、心臓に無数の小さな出血を生じさせた。これらの小さな出血が、Xian の急死の原因だった。

Lohimi と Aishu の場合には、なんだか調子がおかしいと気がついてから、わずか 2 日で死亡した。

Xian の場合、我々は、その朝に、彼が『疲れている』と気がついた。我々には、彼が十分に睡眠をとれなかったように思われた。5 時間後の正午に、彼は早くも死亡した。



↑ Indy と Xian

全てのゾウが、ヘルペスに感染する可能性があるか？

ゾウヘルペスウィルスは、アフリカゾウとアジアゾウの両種を飼育する動物園で主に認められることが解ってきている。

アフリカゾウは、ヘルペスウィルスのキャリアー（病原体の輸送屋）になっているようである。しかし、彼らは、抵抗力（耐性）を持っているようである。

しかしながら、アジアゾウは抗体を産生できない。そして、それが、アジアゾウにおいてウィルス疾患が発症する理由である。感染は、このように、アフリカゾウとの直接あるいは間接的な接触によって起こる。当然、実際に、このような接触は、あらゆる動物園で生じるだろう。

ウィルスは、どのようにして伝播したか？

Malayka（アフリカゾウ）が、バーゼル動物園（スイス）に来園する以前、彼女は、数年間、ニー・サーカス（スイス）でアジアゾウたちと共に暮らした。

Maxie（チューリッヒ動物園の交配用オスゾウ）もまた、英国のチップパーフィールド・サーカスでアフリカゾウと共に生活し、彼らと舞台に出演していた。

さらに、ゾウの飼育係と他の動物飼育係もまた、他国や他園に旅行し、そこでアフリカゾウやその飼育係と接触するかもしれない。すなわち、ゾウがウィルスを運搬するだけではなく、人間もまた運搬役の可能性を秘めているかもしれない。

。

ヘルペスは、ゾウにとって常に致命的か？

悲劇的事件を起こすヘルペスウイルスは、Lohimi、Xian、Aishu のような若いゾウや、年老いたゾウ、弱ったゾウに主に罹患する。

ヘルペスウイルスに感染した何頭かのアジアゾウは、治療に成功した。

しかしながら、急性経過をたどった Lohimi、Xian、Aishu とは対照的に、治療したこれらのゾウの病気の進行は、急性ではなかった。

残念ながら、このウイルスは、治療によって完全に取り除くことはできない。そして、『治療した』後のゾウは、いつでも再感染が起こりえる。

ヘルペスに関する詳細な情報は、章：ヨーロッパのゾウグループ (**European Elephant Group**) で紹介されたエレファントマガジンの No.6 (**Elefanten Magazin Nr.6**) に記載されている (注：要購入)。